

平成30年度 定時社員総会

日 時 平成30年5月25日（金）午後2時30分

場 所 プリンセスガーデンホテル
名古屋市中区栄3丁目13-31
Tel 052-262-4111 / Fax 052-262-4120

一般社団法人愛知県環境測定分析協会
〒460-0022 名古屋市中区金山1-2-4
アイディエリアビル405
Tel/Fax 052-321-3803

表 彰 式 次 第

1 開 会

2 愛知県知事表彰

3 優良従業員協会表彰

4 受賞者代表謝辞

5 閉 会

愛知県計量関係功労者表彰受賞者

| 氏 名 | 所 属 事 業 所 |
|-------|---------------|
| 夏目 訓良 | 株式会社東海分析化学研究所 |
| 西中村敏夫 | 株式会社エステム |

(五十音順)

優良従業員協会表彰受賞者 (12名)

| 氏 名 | 所 属 事 業 所 |
|-------|----------------|
| 岩崎 陽 | 株式会社イズミテック |
| 加藤 一良 | 一般財団法人東海技術センター |
| 加藤 高章 | 株式会社環境科学研究所 |
| 加藤 貴宏 | 三協熱研株式会社 |
| 川口 真央 | 株式会社ユニケミー |
| 小林 賢治 | 東亜環境サービス株式会社 |
| 駒瀬 雄二 | 株式会社テクノ中部 |
| 鈴木 健夫 | 株式会社大同分析リサーチ |
| 平家 正佳 | サンエイ株式会社 |
| 森山 佑規 | 株式会社ユニケミー |
| 山下 裕志 | 株式会社環境公害センター |
| 山本 健二 | 株式会社テクノ中部 |

(五十音順)

平成30年度 定時社員総会次第

1 開 会

2 会長挨拶

3 来賓祝辞

4 議事録署名人の選出

5 議 事

- (1) 第1号議案 平成29年度事業報告書について
- (2) 第2号議案 平成29年度収支決算書について
- (3) 第1号報告 平成30年度事業計画について
- (4) 第2号報告 平成30年度収支予算について

6 その他

- (1) 平成30年度環境に関する喚起標語入選者表彰

7 閉 会

8 特別講演

演題「東海・東南海地震について」

講師 北海道大学名誉教授 平川一臣氏

9 その他

懇親会

第1号議案 平成29年度事業報告書について

- 1 正会員数 71社(平成29年度末、29年度当初は71社)
- 2 賛助会員数 18社(平成29年度末、29年度当初は17社)
- 3 平成29年度総会 平成29年度総会は5月25日(木)にプリンセスガーデンホテルで開催され、愛知県計量関係功労者知事表彰、優良従業員協会表彰の後、平成28度事業報告及び平成28年度収支計算書の承認、役員を選出、定款の改定等が行われた。

4 理事会

| 開催月日 | 議 題 |
|-----------------------|---|
| 第1回理事会 H29.5.9(火) | <ol style="list-style-type: none"> 1 事業経過報告(前回理事会以降)について 2 各委員会活動報告について 3 景況調査について 4 平成28年度事業報告及び平成28年度収支決算について 5 平成29年度事業計画及び平成29年度収支予算について (再提示) 6 平成29年度定時社員総会について 7 役員及び委員長を選出について 8 委員会規程の一部改正について 9 平成29年度正会員従業員表彰について 10 平成29年度愛環協行事予定について 11 その他 |
| 第2回理事会 H29.5.25(木) | <ol style="list-style-type: none"> 1 代表理事及び副代表理事の選定について |
| 第3回理事会 H29.6.29(火) | <ol style="list-style-type: none"> 1 事業経過報告(第1回理事会以降)について 2 各委員会活動報告について 3 創立40周年記念式典案について 4 その他 |
| 第4回理事会 H29.10.6(金) | <ol style="list-style-type: none"> 1 事業経過報告(第3回理事会以降)について 2 各委員会活動報告について 3 ブロック会議(上期)報告について 4 平成29年度収支決算(中間報告)について 5 創立40周年記念事業実施結果について 6 その他 |

| | |
|-----------------------|---|
| 第5回理事会 H29.12.8(金) | 1 事業経過報告(第4回理事会以降)について 2 各委員会活動報告について 3 「景況調査」について 4 「環境に関する喚起標語」の募集について 5 賛助会員の新規加入について 6 その他 |
| 第6回理事会 H30.3.12(月) | 1 事業経過報告(第5回理事会以降)について 2 各委員会活動報告について 3 ブロック会議(下期)の報告について 4 平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 5 計量関係功労者知事表彰について 6 喚起標語の選考について 7 景況調査の実施について 8 平成30年度行事予定について 9 その他 |

5 委員会活動

- (1) 総務委員会 開催回数 4回
 ア 賛助会員1社の入会があり、理事会へ報告した。
 イ 平成29年度景況調査を実施した。
 ウ 平成30年度環境に関する喚起標語を募集した。
 エ 優良従業員被表彰者を選定した。
 オ 愛環協 サポーターズ メールマガジンを企画発刊した。
- (2) 企画・対外交渉委員会 開催回数 3回
 ア 名古屋大学減災館の施設見学会を企画運営、創立40周年記念式典実施への協力、特別企画セミナーの運営を行った。
 イ 社員総会講演会、環境月間講演会の講師を選定するとともに、愛環協が主催する研修会・講演会等に積極的に協力した。
- (3) 教育・研修委員会 開催回数 5回
 ア 環境測定分析新任者研修会、初級統計研修会、中堅実務者研修会、環境計量士等研修会及びSOP研修会を開催した。
- (4) 広報委員会 開催回数 5回
 ア 会報誌「あいかんきょう」第131、第132、第133、第134号を編集・発行した。
 イ 環境月間講演会を開催した。
- (5) 技術委員会 開催回数 3回
 ア 第1回共同実験(水質)及び第2回共同実験(大気・臭気)を各1回実施し、結果検討会(各1回)

を開催するとともに結果報告書を参加者に送付した。

イ 騒音・振動WGの勉強会を実施した。

ウ ガスメーターの自主検査を2回実施した。

(6) ホームページ委員会 開催回数 6回

ア 愛環協ホームページの更新

毎月ホームページの定期更新及び随時更新の作業を実施した。

イ ホームページ委員会のあり方や広報委員会との連携について検討した。

ウ 情報のリアルタイム発信を目指すホームページの更新態勢について検討した。

(7) 災害緊急時対応委員会 開催回数 4回

ア 愛知県と合同で協定に基づいて災害時の対応について測定訓練を実施した。

イ 豊田市及び豊橋市とそれぞれの協定に基づく災害時の対応やその訓練について意見交換を行った。

ウ 岡崎市との協定締結について検討のうえ締結する旨理事会に報告した。

6 研修会等実施状況

| 研 修 名 (会 場 名) | 開 催 月 日 (出席人員) | 演 題 及 び 講 師(敬称略) |
|--|------------------------|--|
| 環境測定分析新任者研修会 (日本特殊陶業市民会館 3階第1 会議室) | H29. 6. 2(金) (32名) | I 「環境計量の仕事とは」 (一財) 東海技術センター 参与 菊谷 彰 II 「精度よい測定のために」 1. サンプルングの基礎 (株)テクノ中部 測定分析センター 管理グループ長 清水 久博 2. 分析技術 -化学分析- 3. 分析技術 -機器分析- 4. トレーサビリティ 5. 標準物質 6. データの取扱 (株)環境科学研究所 環境部環境調査課長 牧原 大 III. 労働安全衛生 (株)大同分析リサーチ 環境測定センター 環境専門部長 新谷 良英 |
| 環境月間講演会 (日本特殊陶業市民会館 3階第1 | H29. 6. 16(金) (57名) | 1. 「愛知県の地球温暖化対策について」 愛知県環境部大気環境課地球温暖化対策室 |

| | | |
|---------------------------------------|-------------------------|---|
| 会議室) | | 室長補佐 横井 歩 2.「炭素繊維のリサイクル技術」 岐阜大学大学院工学研究科 環境エネルギーシステム専攻 シニア教授 守富 寛 |
| 初級統計研修会 (日本特殊陶業市民会館 3階第2 会議室) | H29. 7. 14(金) (12名) | 1.「基本統計量」 (株)東海分析化学研究所 食品検査室室長 夏目 訓良 2.「検定」 (株)ユニケミー 取締役顧問 服部 寛和 3.「外れ値の検定」 (一社)愛知県薬剤師会 生活科学センター所長 田村 励治 |
| 中堅実務者研修会 (ウインクあいち1210号室) | H29. 9. 14(木) (14名) | 1.「環境分析及びサンプリングにおける精度管理」 (一社)愛知県薬剤師会 生活科学センター所長 田村 励治 2.「機器分析の精度管理」 (一財)東海技術センター 調査分析部部长 土屋 忍 |
| | H29. 9. 15(金) (14名) | 1.「環境法令について」 (一財)東海技術センター 参与 菊谷 彰 2.「数値の扱い方、下限、妥当性及び基本統計量」 (株)東海分析化学研究所 食品検査室室長 夏目 訓良 3.「相関分析・回帰分析」 愛知県立岡崎工業高校教諭 井上 満 4.「不確かさの検出」 (株)環境科学研究所 環境部環境調査課長 牧原 大 |
| 環境計量士等研修会 (日本特殊陶業市民会館 3階第1 会議室) | H29. 11. 10(金) (38名) | 1.「騒音振動の規制と相談について ～愛知の状況と取組～」 愛知県環境部大気環境課 課長補佐 石垣 雄大 |

| | | |
|---|------------------------|--|
| | | <p>2.「水銀に関する廃棄物処理法施行令等の改正について」 愛知県環境部資源循環推進課 主任主査 中根 知康</p> <p>3.「ICP-AES 及び ICP-MS の正しい使い方について」 環境省環境調査研修所 教官 藤森 英治</p> <p>4.「騒音計，振動レベル計の計量法特定計量器検定検査規則の改正について」 『風力発電施設から発生する騒音等測定マニュアル』で要求される測定器について」 リオン株式会社 開発部 音響振動計測器開発課 尾崎 徹哉</p> |
| 第1回共同実験(水質)結果検討会 (日本特殊陶業市民会館 3階第1会議室) | H29. 12. 4(月) (29名) | <p>1.「模擬排水中の亜鉛及び全クロムの分析」について (株)ユニケミーものづくり支援技術部 試験第一課課長 池田 寛</p> |
| 第2回共同実験(大気・臭気)結果検討会 (日本特殊陶業市民会館 3階第1会議室) | H30. 1. 12(金) (23名) | <p>1.「模擬試料中の水銀濃度測定」 (株)イズミテック 課長 内藤 茂</p> |
| SOP(標準作業手順書)研修会 (日本特殊陶業市民会館 3階第2会議室) | H30. 1. 24(水) (20名) | <p>1.「SOPとは」 (株)ユニケミー 取締役 中安 史隆</p> <p>2. SOPのグループ作成演習</p> <p>3. 作成したSOPのグループ発表</p> |
| 騒音・振動勉強会 (日本特殊陶業市民会館 3階第2会議室) | H30. 2. 15(金) (19名) | <p>1.「基礎講習：振動の基礎について」 リオン(株)</p> <p>2.「騒音・振動の調査及び解析作業に関して工夫したことや失敗例の紹介」</p> <p>3.「その他(質疑応答等)」</p> |
| 特別企画セミナー (日本特殊陶業市民会館 3階第1会議室) | H30. 3. 20(火) (49名) | <p>1. パネル報告 ・「環境測定分析業界における IT の課題について」</p> |

| | | |
|------|--|--|
| 会議室) | | <p>一般社団法人日本環境測定分析協会 顧問 田中 正廣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「分析業務管理システムについて」 (株)エイビス 常務取締役 渡邊 浩二 ・「データ整理、精度管理資料作成ツールについて」 サイエンスソフトウェア(株) 代表取締役 中島 晋也 ・「試薬管理システムについて」 (株)東海テクノ 営業本部 IT 事業室 市田 誠 <p>2. パネルトークセッション ～ 事前アンケートを中心に ～</p> <p>3. 「計量証明事業所への立入り検査について～最新情報～」 愛知県産業労働部商業流通課 主幹 伊藤 和之</p> |
|------|--|--|

7 広報活動

(1) 環境保全広報の実施

環境保全の必要性及び重要性を一般に広報するとともに関係機関開催行事に協賛して積極的に参加した。

(2) 会報誌「あいかんきょう」の発行

| 号 | 発行月日 | 主 要 記 事 |
|-----|------------|---|
| 131 | H29. 4. 20 | 委員会等活動報告 ブロック会議報告 SOP(標準作業手順書)研修会受講報告 騒音振動WG勉強会報告 特別企画セミナー報告 「私の履歴書」-愛環協、日環協の協会活動を振り返って(第8回) 顧問 濱地 光男 平成29年度「環境に関する喚起標語」入選者・入選作紹介 事務局からのお知らせ「愛知県環境部(モリコロ)案内」 手塚事務局長退任のお知らせ |
| 132 | H29. 7. 20 | 『創立40周年記念特集』 創立40周年を迎えて 会長 河野達郎 |

| | | |
|-----|-------------|--|
| | | <p>創立40周年に寄せて 愛知県知事 大村秀章 創立40周年に寄せて 顧問 濱地光男 創立40周年に寄せて 新しい力 (株)環境科学研究所 岩田茂 (株)イズミテック 萩原沙羅 委員会活動報告及び今後の抱負 総務委員長 大野哲 企画・対外交流委員長 角 信彦 教育研修委員会会長 服部寛和 広報委員長 林 辰哉 技術委員長 波多野群樹 ホームページ委員長 金田哲夫 災害緊急時対応委員長 林 昌史 ブロック紹介及び今後の抱負 第1ブロック長 氏原和彦 第2ブロック長 林 昌史 第3ブロック長 林 辰哉 第4ブロック長 阿部裕士 第5ブロック長 大野 哲 平成29年度 定時社員総会 新理事紹介 平成28年度景況調査結果報告 平成28年度特別企画セミナーアンケート結果報告 環境・時の話題「あいちターゲットとあいち生物多様性戦略2020について」 「私の履歴書」(追補版)「計量証明様式」－愛環協計量証明統一様式の経緯と変遷－ 顧問 濱地 光男 鎌田元理事愛知県功労者表彰受賞</p> |
| 133 | H29. 10. 20 | <p>愛知県と大規模地震災害を想定した放射線量調査訓練を実施 愛環協創立40周年記念式典 委員会等活動報告 ブロック会議報告 環境月間講演会報告 初級統計研修会報告 中堅実務者研修会報告 「私の趣味」</p> |

| | | |
|-----|---------|---|
| 134 | H30.1.1 | 年頭のご挨拶 代表理事 河野 達郎 新春を迎えて 愛知県知事 大村 秀章 委員会活動報告 愛環協施設見学会に参加して 愛環協施設見学会アンケート結果報告 環境計量士等研修会 受講報告 環境セミナー全国大会in千葉 参加報告 第8次水質総量削減について 「私の趣味」 「環境に関する喚起標語」募集のお知らせ |
|-----|---------|---|

(3) 情報提供

環境測定分析関係情報を希望会員 28 社に随時有料で送付した。

8 共同実験(クロスチェック)

平成29年度も前年と同様に日環協中部支部共催事業として実施した。

| | 内 容 | 実 施 日 | 参加社数 | うち県外 |
|-------------------|---|-------------|--------------|--------------|
| 第1回共同実験 (水質) | 試料配布 模擬排水中の亜鉛及び全 クロムを分析 (分析項目：亜鉛及び全クロム) | H29. 8. 10 | 49社 (51口) | 13社 (14口) |
| | 結果検討会 (市民会館 3階 第1会議室) | H29. 12. 4 | 29名 | 4名 |
| 第2回共同実験 (大気) | 試料配付 模擬試料中の水銀濃度の 測定 (項目：水銀) | H29. 11. 10 | 26社 (27口) | 10社 (10口) |
| | 結果検討会 (市民会館 3階 第1会議室) | H30. 1. 12 | 23名 | 5名 |
| 共同実験(クロ スチェック) | 試料配付 模擬排水中のふっ素の分 析 (項目：ふっ素) | H30. 1. 31 | 31社 (34口) | 10社 (10口) |

9 環境相談窓口の設置

一般からの環境相談及び検査機関の問合せに対応した。

10 環境行政機関行事への協力

- (1) 「愛知県環境部」の防災訓練に協力連携し、協定に基づく訓練を実施した。

(2) 「愛知県環境部」と「もりの学舎自然学校」との協賛により、モリコロパークで自然とふれあう活動を実施した。

(3) 「高校生ものづくりコンテスト(化学分析競技)」を後援した。

愛知県高等学校工業教育研究会が実施する総合競技大会化学分析競技(県大会)を後援し、分析試料溶液の調製、検定書の提供及び卓越技能賞の授与を行った。

その他愛知県環境部開催の行事に参加した。

1.1 測定済証の斡旋

平成29年度の斡旋実績は、次のとおりであった。

| | |
|-----|------|
| 水質 | 160枚 |
| 排ガス | 425枚 |
| 騒音 | 40枚 |
| 計 | 625枚 |

1.2 ガスメーター自主検査

機器管理基準に基づくガスメーターの自主検査を(株)テクノ中部の協力により、2回実施し、計37台の検査を実施した。

| | | | |
|-----|------------------------|------|-----|
| 第1回 | 平成29年7月10日(月)～7月14日(金) | 受検台数 | 22台 |
| 第2回 | 平成30年1月9日(火)～1月19日(金) | 受検台数 | 25台 |
| | | 計 | 47台 |

1.3 愛知県知事表彰

平成29年度定時社員総会(5月25日(木))の席上で愛知県計量関係功労者として、一般財団法人東海技術センター市川ゆかり氏が表彰された。

1.4 優良従業員の表彰

環境測定分析業務に7年以上勤続の優良従業員13名を、平成29年度定時社員総会(5月25日(木))の席上で表彰した。

従業員表彰受賞者

| 氏名 | 所属事業所 |
|-------|-----------------------|
| 伊藤 智 | 株式会社 環境科学研究所 |
| 岡崎 正憲 | 一般財団法人 東海技術センター |
| 近藤 和彦 | 三協熱研 株式会社 |
| 杉浦 正浩 | 株式会社 テクノ中部 |
| 鈴木 幸世 | 株式会社 東海分析化学研究所 |
| 住田 龍彦 | 株式会社 ユニケミー |
| 成山 将 | 株式会社 三井化学分析センター名古屋事業所 |
| 松村 満 | 株式会社 テクノ中部 |
| 眞野いず美 | 株式会社 イズミテック |

| | |
|-------|---------------|
| 水野 由教 | 株式会社 環境公害センター |
| 八尾 剛弘 | 株式会社 大同分析リサーチ |
| 山田 龍一 | 株式会社 環境科学研究所 |
| 芳田 英朗 | 東亜環境サービス 株式会社 |

(氏名の五十音順 敬称略)

1.5 平成30年度環境に係る喚起標語の募集及び選出

環境に係る喚起標語の募集を行った。総数 97 作品 (13 社) の応募があり、特選 1 作品、入選 10 作品を選出した。(入選作品は 21p に掲載)

1.6 写真コンテスト

平成 28 年度に実施した愛環協写真コンテストの優秀作を表彰し、金賞については平成 29 年度定時社員総会 (5 月 25 日 (木)) の席上で表彰した。作品を会報誌「あいかんきょう」の表紙写真に採用した。

1.7 ブロック会議

ブロック毎に年 2 回開催し、理事会審議事項の伝達、会員相互の意思の疎通を図り、協会事業の周知と協会に対する要望事項を聴取した。

1.8 創立40周年記念事業

ア 愛環協創立 40 周年を記念して、平成 29 年 7 月 21 日 (金)、プリンセスガーデンホテルにおいて会員 83 名が参加して式典を行った。

式典には愛知県菅沼環境部長はじめ県関係者、(一社)日本環境測定分析協会松村会長はじめ環境計量業界関係者等の多数の来賓の出席のあり、河野会長あいさつ、来賓祝辞の後に、愛環協から愛知県環境部及び計量センターに感謝状を、濱地光男氏に特別功労者賞、大場和子氏及び阪野二郎氏に功労賞が贈られた。

特別記念講演として、名古屋市科学館天文主幹野田学氏により「プラネタリウムと星空と」の講演があった。

イ 40 周年記念事業と他県との交流事業も兼ねて、九州・種子島環境視察団を結成し、企画準備を行った。

1.9 関係団体活動

(1) (一社)日本環境測定分析協会 同中部支部

ア (一社)日本環境測定分析協会中部支部が他県単と平成 29 年 12 月 1 日に開催した「平成 29 年度環境計量技術研修会」の開催に協力し、技術委員を講師派遣した。

イ 次の諸事業を中部支部と共催で実行した。

(ア) 共同実験 (3 回)

- (イ) 環境月間における講演会
- (ウ) 各種研修会
- (2) 愛知県計量連合会
県内計量関係団体の一員として業務の連絡を密にした。
- (3) 中部環境計量士会と連携協調した。

第2号議案 平成29年度収支決算書について

貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 差 異 |
|-------------------|-----------|-----------|---------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 普通預金 | 2,156,568 | 1,912,035 | 244,533 |
| 振替口座預金 | 0 | 0 | 0 |
| 定期預金 | 1,303,000 | 1,293,000 | 10,000 |
| 流動資産合計 | 3,459,568 | 3,205,035 | 254,533 |
| 2. 固定資産 | | | |
| 電話加入権 | 72,000 | 72,000 | 0 |
| 商標登録権 | 40,000 | 40,000 | 0 |
| 固定資産計 | 112,000 | 112,000 | 0 |
| 資産合計 | 3,571,568 | 3,317,035 | 254,533 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 預り金 | 71,776 | 61,587 | 10,189 |
| 流動負債計 | 71,776 | 61,587 | 10,189 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 退職給与引当金 | 1,303,000 | 1,293,000 | 10,000 |
| 固定負債計 | 1,303,000 | 1,293,000 | 10,000 |
| 負債合計 | 1,374,776 | 1,354,587 | 20,189 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 一般正味財産 | | | |
| 正味財産合計 | 2,196,792 | 1,962,448 | 234,344 |
| 負債及び正味財産合計 | 3,571,568 | 3,317,035 | 254,533 |

正味財産増減計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

単位:円

| 科目 | 当年度 | 前年度 | 差異 |
|-------------------|------------|------------|-----------|
| I 一般正味財産の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| ① 受取入会金 | | | |
| 受取入会金 | 0 | 0 | 0 |
| ② 受取会費 | | | |
| 受取会費 | 9,420,000 | 9,370,000 | 50,000 |
| ③ 事業収益 | | | |
| 研修会等収入 | 955,000 | 1,071,000 | △ 116,000 |
| クロスチェック参加料 | 1,339,000 | 964,000 | 375,000 |
| ガスメーター自主検査料 | 338,400 | 266,400 | 72,000 |
| その他の事業収入 | 937,250 | 416,410 | 520,840 |
| 日環協中部支部委託事業収入 | 648,624 | 1,156,259 | △ 507,635 |
| 雑収入 | 549,576 | 520,813 | 28,763 |
| 経常収益計 | 14,187,850 | 13,764,882 | 422,968 |
| (2) 経常費用 | | | |
| ① 事業費 | | | |
| 委員会費 | 480,551 | 407,390 | 73,161 |
| 研修会等費 | 1,610,213 | 1,752,757 | △ 142,544 |
| クロスチェック費 | 524,246 | 443,790 | 80,456 |
| ガスメーター自主検査費 | 340,608 | 284,839 | 55,769 |
| 広報活動費 | 1,295,327 | 1,511,043 | △ 215,716 |
| ブロック活動費 | 254,202 | 355,000 | △ 100,798 |
| 調査研究費 | 0 | 0 | 0 |
| 環境関係行事協賛費 | 54,000 | 54,000 | 0 |
| 関係団体会費・分担金 | 0 | 0 | 0 |
| 環境相談事業費 | 0 | 0 | 0 |
| 40周年記念事業関連費 | 1,218,574 | | 1,218,574 |
| その他の事業費 | 56,160 | 381,180 | △ 325,020 |

単位:円

| 科目 | 当年度 | 前年度 | 差異 |
|--------------------|------------|------------|-----------|
| ② 一般管理費 | | | |
| 給与手当 | 3,270,000 | 3,669,300 | △ 399,300 |
| 福利厚生費 | 803,137 | 781,336 | 21,801 |
| 事務所賃貸料 | 2,042,880 | 2,042,880 | 0 |
| 水道光熱費 | 821,328 | 808,935 | 12,393 |
| 通信運搬費 | 260,838 | 213,914 | 46,924 |
| 旅費交通費 | 86,940 | 83,220 | 3,720 |
| 印刷費 | 32,508 | 20,412 | 12,096 |
| 消耗品費 | 143,294 | 59,561 | 83,733 |
| 総会費 | 198,411 | 116,257 | 82,154 |
| その他会議費 | 100,584 | 91,720 | 8,864 |
| 事務機リース料 | 116,892 | 145,647 | △ 28,755 |
| 租税公課 | 79,118 | 107,332 | △ 28,214 |
| 退職給付費用 | 10,000 | 10,000 | 0 |
| 雑費 | 153,695 | 136,832 | 16,863 |
| 経常費用計 | 13,953,506 | 13,477,345 | 476,161 |
| 当期経常増減額 | 234,344 | 287,537 | △ 53,193 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外費用 | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産 | 234,344 | 287,537 | △ 53,193 |
| 一般正味財産期首財産 | 1,962,448 | 1,674,911 | 287,537 |
| II 正味財産期末残高 | 2,196,792 | 1,962,448 | 234,344 |

監 査 報 告 書

一般社団法人 愛知県環境測定分析協会
会 長 河 野 達 郎 様

私たちは、一般社団法人 愛知県環境測定分析協会の平成29年度
(平成29年4月1日から30年3月31日まで)における貸借対照
表、正味財産増減計算書等の会計書類及び業務について精査し、監査
を行った結果、いずれも正確かつ適正であったことを確認いたしました。

平成30年4月19日

一般社団法人 愛知県環境測定分析協会

監 事 犬場和子 

監 事 佐野教信 

監 事 柴田金作 

第1号報告 平成30年度事業計画について

1 研修の開催

- (1) 環境分析技術、法令等講習会の開催

計量法改正等の説明会を開催する。

開催時期 必要に応じ随時

- (2) 環境測定分析技術者研修会の開催

- ア 新任者研修会(日環協中部支部より受託予定)

開催時期 平成30年6月(予定)

- イ 初級統計研修会(日環協中部支部と共催)

開催時期 平成30年7月(予定)

- ウ 中堅実務者研修会(日環協中部支部より受託予定)

開催時期 平成30年9月(予定)

- エ SOP(標準作業手順書)研修会(日環協中部支部と共催)

開催時期 平成31年1月(予定)

- オ 大気・臭気勉強会

開催時期 平成31年1月(予定)

- (3) 環境計量士等研修会の開催(日環協中部支部と共催)

環境計量士等を対象として、環境問題に対する認識を深め、新しい分析技術を習得する。

(会員外も対象)

開催時期 平成30年11月(予定)

- (4) 特別企画セミナーの開催(日環協中部支部と共催)

開催時期 平成30年11月(予定)

開催時期 平成31年3月(予定)

2 広報活動

- (1) 環境保全広報の実施

環境保全の必要性、重要性を一般県民に広報する。

- (2) 会報誌「あいかんきょう」の発行 4回

協会事業等を会員及び関係者に広報する。

- (3) 情報提供

環境測定分析関係情報を、インターネット等を通じ提供する。

- (4) 「愛環協サポーターズ メールマガジン」の運営 不定期 月1日発行

- (5) 環境関連事項についての調査

- (6) 環境月間講演会の開催 平成30年6月(予定)

3 共同実験(クロスチェック)の実施 2回

分析技術の精度向上のため、会員外も対象として実施する。

また、実験参加者による分析結果検討会を開催する。

第1回 水質関連の測定分析

第2回 騒音・振動関連の測定分析

4 施設見学会の実施

会員の環境に関する幅広い視野を涵養するために実施する。

5 環境相談窓口

一般からの測定分析等の環境に関する問合せに対応する。

6 関係行政機関行事への協力

(1) 「愛知県環境部」等の防災訓練に協力連携し、協定に基づく訓練を実施する。

(2) 「愛知県環境部」と「もりの学舎自然学校」と協力して、モリコロパークで自然とふれあう活動を推進する。

(3) 「高校生ものづくりコンテスト（化学分析競技）」愛知大会、東海大会及び全国大会の開催に協力する。

(4) 「愛知県」の「全国植樹祭推進室」に協賛する。

7 測定済証の発行

定期測定分析事業所に対し、測定済証を貼付することにより測定済証の実施の履行を図る。

8 ガスメーター自主検査事業の実施

2回

9 協会会員のホームページ運営

月毎に更新

10 計量証明書「承認様式」の認証

随時

11 優良従業員の表彰

環境測定分析業務に7年以上勤続の優良従業員を表彰する。

12 喚起標語の募集と表彰

12月

測定分析に係わる喚起標語を募集し優秀作品は総会において表彰する。

13 景況調査の実施

会員に対して景況調査を実施する。

1.4 写真コンテストの開催

人がふれあう自然や景色の写真を募集し優秀作品は総会において表彰する。

1.5 ブロック会議の開催

2回

理事会審議事項の伝達、会員の情報交換及び親睦のため、ブロック毎又は共同にて会議を開催する。

1.6 海外研修生の受入

関係機関、団体からの依頼があれば研修生の受け入れを会員事業所に募り実施する。

1.7 愛環協創立40周年記念事業の実施

九州・種子島環境視察団を結成し、平成30年4月26日（金）～4月29日（日）に他県交流事業を実施する。

1.8 関係団体との連携協調

- (1) (一社)日本環境測定分析協会、同中部支部と研修、共同実験、セミナー等連携協調を図る。
- (2) (一社)愛知県計量連合会、中部環境計量士会と連携協調を図る。

第2号報告 平成30年度収支予算について

平成30年度収支予算
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

単位:円

| 科目 | H30年度予算(a) | H29年度予算(b) | 差異(a-b) |
|-------------------|------------|------------|-------------|
| I 一般正味財産の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| ① 受取入会金 | | | |
| 受取入会金 | 50,000 | 50,000 | 0 |
| ② 受取会費 | | | |
| 受取会費(正会員) | 8,460,000 | 8,580,000 | △ 120,000 |
| 受取会費(賛助会員) | 900,000 | 850,000 | 50,000 |
| ③ 事業収益 | | | |
| 研修会等収入 | 1,200,000 | 1,213,000 | △ 13,000 |
| クロスチェック参加料 | 900,000 | 850,000 | 50,000 |
| ガスメーター自主検査料 | 350,000 | 432,000 | △ 82,000 |
| その他の事業収入 | 800,000 | 800,000 | 0 |
| 九州種子島環境視察団関連収入 | 0 | 0 | 0 |
| 40周年記念事業(式典参加料等) | 0 | 640,000 | △ 640,000 |
| 日環協中部支部委託事業収入 | 550,000 | 514,000 | 36,000 |
| 雑収入 | 500,000 | 500,000 | 0 |
| 経常収益 計 | 13,710,000 | 14,429,000 | △ 719,000 |
| (2) 経常費用 | | | |
| ① 事業費 | | | |
| 委員会費 | 400,000 | 400,000 | 0 |
| 研修会等費 | 1,600,000 | 1,580,000 | 20,000 |
| クロスチェック費 | 700,000 | 700,000 | 0 |
| ガスメーター自主検査費 | 350,000 | 432,000 | △ 82,000 |
| 広報活動費 | 1,500,000 | 1,700,000 | △ 200,000 |
| ブロック活動費 | 360,000 | 360,000 | 0 |
| 調査研究費 | 50,000 | 50,000 | 0 |
| 環境関係行事協賛費 | 60,000 | 60,000 | 0 |
| 関係団体会費・分担金 | 0 | 0 | 0 |
| 環境相談事業費 | 40,000 | 40,000 | 0 |
| 九州種子島環境視察関連費 | 300,000 | 0 | 300,000 |
| 40周年記念事業関連費 | 0 | 1,170,000 | △ 1,170,000 |
| その他の事業費 | 100,000 | 100,000 | 0 |
| 事業費 計 | 5,460,000 | 6,592,000 | △ 1,132,000 |

単位:円

| 科目 | H30年度予算(a) | H29年度予算(b) | 差異(a-b) |
|--------------------|------------|------------|-----------|
| ② 一般管理費 | | | |
| 給与手当 | 3,270,000 | 3,240,000 | 30,000 |
| 福利厚生費 | 850,000 | 750,000 | 100,000 |
| 事務所賃貸料 | 2,100,000 | 2,100,000 | 0 |
| 水道光熱費 | 850,000 | 850,000 | 0 |
| 通信運搬費 | 200,000 | 160,000 | 40,000 |
| 旅費交通費 | 100,000 | 100,000 | 0 |
| 印刷費 | 50,000 | 50,000 | 0 |
| 消耗品費 | 100,000 | 40,000 | 60,000 |
| 総会費 | 200,000 | 150,000 | 50,000 |
| その他会議費 | 100,000 | 100,000 | 0 |
| 事務機リース料 | 140,000 | 140,000 | 0 |
| 租税公課 | 110,000 | 110,000 | 0 |
| 退職給付費用 | 10,000 | 10,000 | 0 |
| 雑費 | 200,000 | 200,000 | 0 |
| 一般管理費 計 | 8,280,000 | 8,000,000 | 280,000 |
| 経常費用計 | 13,740,000 | 14,592,000 | △ 852,000 |
| 当期経常増減額 | △ 30,000 | △ 163,000 | 133,000 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外費用 | | | |
| 予備費 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産 | △ 30,000 | △ 163,000 | 133,000 |
| 一般正味財産期首財産 | 2,196,792 | 1,962,448 | 234,344 |
| II 正味財産期末残高 | 2,166,792 | 1,799,448 | 367,344 |

平成30年度 環境に関する喚起標語入選者

| 区分 | 標語 | 氏名 | 所属 |
|----|---------------------------------|--------|----------------|
| 特選 | 育てよう確かな技術と豊富な知識 | 石井 良孝 | 株式会社愛研 |
| 入選 | 正確な知識と技術の教育で 高めよう環境計量の信頼性 | 各務 直之 | 三協熱研株式会社 |
| 入選 | 技術の習得・技術の継承 両輪回して人財育成 | 柏木 隆頼 | 株式会社環境科学研究所 |
| 入選 | 『知識と技術と志』未来へ繋ぐ環境計量のたすき | 川口 真央 | 株式会社ユニケミー |
| 入選 | 価値ある技術の継承で高い信頼確かな品質 | 川崎 知美 | 藤吉工業株式会社 |
| 入選 | 培った技術 養った経験 活かして伝えて築く信頼性 | 鈴木 幸世 | 株式会社東海分析化学研究所 |
| 入選 | 理解するまで 見せて教える 技術者育成 | 鈴木 真由美 | サンエイ株式会社 環境事業部 |
| 入選 | ベテラン、中堅、若手へと スキルのバトン繋いで育む 確かな計量 | 高須 啓史 | 名南サービス株式会社 |
| 入選 | 世代超え伝う技術と思いやり | 高橋 哲哉 | 株式会社イズミテック |
| 入選 | 臆するな、知らない事にこそ宝物、学び続ける技術者となれ | 吉村 昇 | 株式会社環境公害センター |
| 入選 | 伝えよう正しい知識 示そう正しい手順 つなぐ技術で築く未来 | 和賀登 基文 | 株式会社環境科学研究所 |

(入選は氏名の五十音順)

一般社団法人愛知県環境測定分析会 役員名簿(平成29～30年度)

| 役員 | 氏名 | 所属事業所 | 職名 | ブロック |
|-----|-------|-----------------|----------------------|------|
| 会長 | 河野 達郎 | 一般財団法人 東海技術センター | 常務理事 | 第 3 |
| 副会長 | 大野 哲 | 株式会社 イズミテック | 代表取締役社長 | 第 5 |
| 理事 | 阿部 裕士 | 株式会社 三進製作所 | 執行役員管理本部副 本部長 | 第 4 |
| 理事 | 氏原 和彦 | 株式会社 テクノ中部 | 環境事業本部測定分 析センター所長 | 第 1 |
| 理事 | 金田 哲夫 | 株式会社 環境公害センター | 代表取締役社長 | 第 2 |
| 理事 | 角 信彦 | 株式会社 愛研 | 代表取締役 | 第 2 |
| 理事 | 田村 励治 | 一般社団法人 愛知県薬剤師会 | 生活科学センター所 長 | 第 2 |
| 理事 | 濱地 清市 | 株式会社 ユニケミー | 代表取締役社長 | 第 1 |
| 理事 | 林 昌史 | 株式会社 環境科学研究所 | 代表取締役 | 第 2 |
| 理事 | 武藤 鉦一 | 東亜環境サービス株式会社 | 代表取締役 | 第 1 |
| 監事 | 大場 和子 | 株式会社 東海分析化学研究所 | 代表取締役社長 | 第 5 |
| 監事 | 佐野 教信 | 壽化工機株式会社 | 常務取締役 | 第 3 |
| 監事 | 柴田 金作 | 藤吉工業株式会社 | 水処理技術研究所取 締役所長 | 第 3 |
| 顧問 | 濱地 光男 | 株式会社 ユニケミー | 代表取締役会長 | 第 1 |

(五十音順)

一般社団法人愛知県環境測定分析協会 委員会委員名簿(平成29～30年度)

| 総務委員会 | 氏名 | 所属事業所 |
|-------|---------|-----------------|
| 委員長 | 大野 哲 | 株式会社 イズミテック |
| 副委員長 | 林 昌 史 | 株式会社 環境科学研究所 |
| 委員 | 角 信 彦 | 株式会社 愛 研 |
| 委員 | 服 部 寛 和 | 株式会社 ユニケミー |
| 委員 | 金 田 哲 夫 | 株式会社 環境公害センター |
| 委員 | 林 辰 哉 | 一般財団法人 東海技術センター |
| 委員 | 波多野 群 樹 | 株式会社 愛研 |

| 企画・対外交流委員会 | 氏名 | 所属事業所 |
|------------|---------|-----------------|
| 委員長 | 角 信 彦 | 株式会社 愛 研 |
| 委員 | 氏 原 和 彦 | 株式会社 テクノ中部 |
| 委員 | 小 島 伸 仁 | 株式会社 イズミテック |
| 委員 | 志 治 豊 吾 | 株式会社 ユニケミー |
| 委員 | 小野寺 茂美 | 株式会社 愛 研 |
| 委員 | 飯 沼 貴 浩 | 一般財団法人 東海技術センター |

| 教育・研修委員会 | 氏名 | 所属事業所 |
|----------|---------|--------------------|
| 委員長 | 服 部 寛 和 | 株式会社 ユニケミー |
| 委員 | 清 水 久 博 | 株式会社 テクノ中部 |
| 委員 | 鈴 木 淳 志 | 新東工業株式会社 環境事業部 |
| 委員 | 佐 藤 博 | 株式会社 イズミテック |
| 委員 | 土 屋 忍 | 一般財団法人 東海技術センター |
| 委員 | 濱 地 清 市 | 株式会社 ユニケミー |
| 委員 | 山 口 敏 範 | 株式会社 ノリタケカンパニーリミテド |

| 広報委員会 | 氏名 | 所属事業所 |
|-------|---------|-----------------|
| 委員長 | 林 辰 哉 | 一般財団法人 東海技術センター |
| 副委員長 | 豊 田 豪 | 株式会社 アイエンス |
| 委員 | 大 場 恵 史 | 株式会社 東海分析化学研究所 |
| 委員 | 近 藤 賢 | 東亜環境サービス株式会社 |
| 委員 | 糸魚川 広 | 株式会社 テクノ中部 |
| 委員 | 市 川 ゆかり | 一般財団法人 東海技術センター |
| 委員 | 田 村 励 治 | 一般社団法人 愛知県薬剤師会 |

| 技術委員会 | 氏名 | 所属事業所 |
|--------------|---------|--------------------------|
| 委員長 | 波多野 群 樹 | 株式会社 愛研 |
| 水質・土壌WG幹事 | 松 田 健 次 | 株式会社 三進製作所 |
| 委 員 | 石 神 昇 | 株式会社 愛研 |
| 委 員 | 堀 富 美 子 | 株式会社 エステム |
| 委 員 | 池 田 寛 | 株式会社 ユニケミー |
| 委 員 | 白 木 俊 介 | 一般社団法人 愛知県薬剤師会 |
| 大気・臭気WG幹事 | 内 藤 茂 | 株式会社 イズミテック |
| 委 員 | 中 込 泰 平 | 一般財団法人 東海技術センター |
| 委 員 | 角 田 健 二 | 三協熱研 株式会社 |
| 委 員 | 中 村 隆 司 | 東亜環境サービス株式会社 |
| 委 員 | 幸 田 英 顕 | 藤吉工業株式会社 |
| 騒音・振動WG幹事 | 大 野 猛 | 玉野総合コンサルタント株式会社 |
| 委 員 | 田 中 勝 | 株式会社 テクノ中部 |
| 委 員 | 長 田 知 也 | 一般財団法人 東海技術センター |
| 委 員 | 志 賀 政 雄 | 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社 |
| 委 員 | 芳 賀 生 憲 | 株式会社 環境科学研究所 |
| ガスメーター自主検査幹事 | 氏 原 和 彦 | 株式会社 テクノ中部 |
| 委 員 | 武 藤 敏 一 | 東亜環境サービス株式会社 |

| ホームページ委員会 | 氏名 | 所属事業所 |
|-----------|---------|-----------------|
| 委員長 | 金 田 哲 夫 | 株式会社 環境公害センター |
| 副委員長 | 志 治 豊 吾 | 株式会社 ユニケミー |
| 委 員 | 牛 古 誠 | 株式会社 環境公害センター |
| 委 員 | 神 戸 良 春 | 株式会社 テクノ中部 |
| 委 員 | 飯 沼 貴 浩 | 一般財団法人 東海技術センター |
| 委 員 | 山 田 早 苗 | 株式会社 エステム |

| 災害緊急時対応委員会 | 氏名 | 所属事業所 |
|------------|---------|---------------------------|
| 委員長 | 林 昌 史 | 株式会社 環境科学研究所 (第2ブロック長) |
| 副委員長 | 大 野 哲 | 株式会社 イズミテック (第5ブロック長) |
| 委 員 | 氏 原 和 彦 | 株式会社 テクノ中部 (第1ブロック長) |
| 委 員 | 林 辰 哉 | 一般財団法人 東海技術センター (第3ブロック長) |
| 委 員 | 阿 部 裕 士 | 株式会社 三進製作所 (第4ブロック長) |

(以上 順不同)